

お問い合わせ先

海上保安庁海洋情報部技術・国際課
海洋情報渉外官 三宅武治
電話 03-3541-3685 (内 530)



平成 21 年 6 月 15 日
海 上 保 安 庁

6 月 2 1 日は「世界水路の日」

「世界水路の日」は、国際水路機関（IHO）とその加盟国が、広く一般の人々に、世界中の船舶交通の安全と海洋環境保全のための水路業務や水路技術の重要性について啓発することを目的として、2005 年 11 月の国連総会で採択されたものです。「世界水路の日」は IHO の設立日を記念して 6 月 21 日となりました。

海上保安庁では、この「世界水路の日」に併せて、海洋情報部の海洋情報資料館を特別公開します。海洋情報部は明治 4 年に我が国の海図作製機関として誕生し、現在は地震、津波、海域火山、大陸棚、海洋環境、マリンレジャーなどに関する多種多様な海洋調査や情報提供を行っています。海洋情報資料館では過去の貴重な資料のみならず、最新の海洋情報業務を紹介したパネルも展示しています。

海洋情報資料館の特別公開

- (1) 日時：平成 21 年 6 月 17 日(水)、18 日(木)、19 日(金)、22 日(月)
10:00～17:00
- (2) 場所：海洋情報資料館（海上保安庁海洋情報部庁舎内）
東京都中央区築地 5 丁目 3 番 1 号
- (3) 主な展示物
IHO 関連の展示
IHO の組織・業務を紹介したパネル、IHO 加盟国の海洋情報業務を紹介したスライドショー及び IHO 出版物など
伊能図(原寸・縮小模写図)
明治の初めに海図作製に活用するため伊能図原本から原寸模写された「豊後(別府、大分)」、「肥後日向(宮崎)」の二図及び縮小模写された関東周辺の「武蔵相模」、「安房上総」、「駿河伊豆相模」など

軍機海図

昭和15年から18年に刊行された横須賀軍港付近の軍機海図

東京湾の変遷を示す海図

明治以降の時代とともに移りゆく東京湾の様子を示す海図

その他

日本最初の海図と銅版並びに明治初期に使用した測量機材等の貴重な資料

(参考)

国際水路機関：International Hydrographic Organization (IHO)

航海の安全及び海洋環境の保護を支援するために1921年に設立された政府間の諮問的、技術的機関(80カ国加盟)

軍機海図：軍艦が使用した海図。軍港や軍艦係留するブイ、軍事関連施設などが記載されているため終戦まで秘密とされ、一般には公表されなかった。

